

令和3年度 河野中学校スクールプラン

〈南越前町教育方針〉

人と文化を育むまちづくり～自ら学び考え行動し、ふるさとを愛する人づくりの推進～

- 豊かな人間性を育む教育の充実
- ・「生きる力」を育む学校教育の充実
- ・個々のニーズに応じた教育の充実
- ・ふるさと教育の推進

学校の教育目標

自立・貢献

校訓：創造・自律・鍛錬

めざす学校の姿

- 生徒や保護者に安全・安心を保証する学校
- すべての生徒が大切にされる学校
- 地域、家庭、小学校と連携する開かれた学校

めざす教師の姿

- 生徒の意欲や能力を引き出す工夫をする教師
- 研究と修養に努め、主体的に学び続ける教師
- ワークライフバランスの整った心身共に健康な教師

めざす生徒の姿

○自分でやるべきことを判断し行動することができる生徒 ○仲間と協働して意欲的に学ぶ生徒 ○ふるさとを大切にする生徒

重点目標

1 確かな学力

- 基礎・基本を徹底する授業づくりの推進
- 主体的・対話的で深い学びのある授業づくりの推進
- 「引き出す教育」「楽しむ教育」の推進

2 豊かな心と健やかな体

- 利他の行動と自己判断力の育成
- 自律的・主体的な決断力・実行力の育成
- 健全な体と心の育成

3 望ましい社会性

- 自立した社会人としての基礎の育成
- 自分の目標を持ち向上的に努力する態度の育成

4 開かれた学校

- 地域や関係機関との連携による新しい時代を生きるために必要な資質・能力の育成
- ふるさとへの愛着と誇りを持つ態度の育成
- 情報発信による学校への理解と協力の促進

【具体的な取り組み】

- 授業のユニバーサルデザイン化を推進する。
- ICTの活用による「わかる」「できる」「伝え合い、深める」授業づくりを推進する。
- 少人数指導を生かし、個に応じた指導を推進する。
- 読書習慣の定着を図る。

【具体的な取り組み】

- 多様な手立てによりいじめ、不登校、差別や偏見の防止を図る。
- 家庭と連携した情報モラル教育の推進と基本的な生活習慣の確立。
- 日常生活の中で利他の行動を促進する。
- 授業や部活動を通して、体力と困難に立ち向かう態度を育成する。

【具体的な取り組み】

- 主体的に進路選択ができる能力を育成する。
- 家庭と連携したキャリア教育を推進する。
- 職場体験を通して望ましい職業観を育成する。

【具体的な取り組み】

- 地域の人的・物的資源を活用してふるさと学習を推進する。
- 学びを発信することにより、ふるさとへの愛着と誇りに思う態度を育成する。
- 小学校、家庭・地域・学校協議会と連携して、新しい時代を生きるために必要な資質・能力を育成する。
- 各種便りにより教育活動の情報を発信する。

【数値目標】

- ・授業が分かると感じている生徒80%以上。
- ・主体的に学び、学びが深まった生徒70%以上。
- ・我が子が授業内容を理解していると感じる保護者70%以上。

【数値目標】

- ・いじめの解消100%。
- ・親子で情報機器の使い方やスマホルールを決め、実行できる家庭70%以上。
- ・早寝・早起き・朝ご飯の習慣、基本的な感染症予防の習慣が身についている生徒90%以上。

【数値目標】

- ・自分の将来について主体的に考え、進路選択しようとする生徒90%以上。
- ・親子で将来のことについて話し合う家庭70%以上。

【数値目標】

- ・地域資源を活用した体験活動に積極的に参加し、ふるさと河野が好きだと答える生徒90%以上。
- ・生徒にふるさと学習の学びを発信させ、ふるさとへの愛着と誇りを育成しようとする教師100%。

【研修テーマ】

全員が「わかる」「できる」「伝え合い、深める」指導の工夫

【業務改善のための取り組み】

- ・行事や会議等について見直しや時程の工夫を更に進め、指導の効率化や精選に努める。
- ・業務の繁忙期におけるチームでの取り組みを推進する。
- ・ICT機器の活用により、アンケート調査等の効率化を推進する。